

学校・地域連携に関する今日的課題  
～香南市・宇和島市中学校長の意識調査から～

1250537 山内梨花

指導教員 中村直人

### 研究背景

全国的な児童生徒数の減少に伴い、各地域で学校規模適正化による統廃合が進みつつある。そのため、学校と地域の関係性にも変化が起こっている。「地域とともにある学校」づくりの実現に向け、よりよい学校・地域連携の在り方について考案する必要がある。

### 研究目的

本研究は、学校の責任者であり、学校運営協議会のメンバーである校長に対し、学校・地域連携の実態及び意識調査を行い、地域別にどのような学校・地域連携の在り方が課題として挙げられるのか、また課題解決に向けてどのような方法があるのかを考案する。

### 研究方法

本研究は、『「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰』を受賞した経歴があり、自治体として学校適正規模が検討されている愛媛県宇和島市と高知県香南市の各中学校校長(10名)を対象にアンケート調査を行い、それらの回答を基に、学校と地域連携の在り方にかかる現状と課題を明らかにし、今後の地域連携の在り方について考案する。

### 結果

校長の視点から捉えた学校運営協議会の活動回数や内容に地域差があり、香南市では限定された議題を取り扱った協議が多かったが、一方宇和島市では、学校ごとに様々な議題を取り扱って協議していることが分かった。また、宇和島市は、香南市より地域が主体となっていく活動の機会が多いことが分かった。そして、校長の地域教育に対する満足度も高く、地域と学校の連携が取れている傾向であることが分かった。

### 考察・結論

学校運営協議会の活動回数と議題の限定性には関連性があると考えられ、開催頻度を増やすことで協議内容の充実が期待される。今後、協議していきたい議題内容の実現に向けて、より積極的な学校運営協議会の開催が必要である。また、地域教育に対する校長の満足度が低い地域では、地域教育の充実や見直しを進め、さらに学校と地域の関係を深め教育の充実に取り組むこと必要である。